

平成 25 (2013) 年度事業計画書

一般財団法人 高度映像情報センター
(A V C C)

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

I はじめに

AVCCは昭和37(1962)年 任意団体として発足、昭和41(1966)年 財団法人視聴覚コンサルタントセンター技能訓練協会として労働大臣認可、昭和49(1974)年 文部大臣認可となり、職業訓練、企業内教育、学校教育、社会教育における視聴覚メディア利用に関して、教材開発・システム企画・利活用研修を三位一体で推進してまいりました。

その後、視聴覚教育という言葉が廃れ、ICT(Information Communication Technology)が主役となりつつあった平成10(1998)年、財団法人高度映像情報センター(Advanced Visual Communication Center)として寄附行為を変更し、高度映像情報メディアを活かした教育の情報化、ICTを活かしたコミュニティプラットフォームの整備コンサルティング事業を進めて参りました。

平成25(2013)年4月1日、一般財団法人高度映像情報センターとして新たなステージに立ちますが、戦後の復興期16mmフィルムと映写機を抱え全国を駆け巡り、国民に感動と学びを伝えた創業者久保田致長氏の“熱い思い”を繋げます。

国民のしごと力向上・生涯学習の推進・文化生活の向上・産業経済の発展に寄与することを目的とし、

- (1) デジタル公民館「霞が関ナレッジスクエア(KK²)」事業
- (2) 高度映像情報メディアの利活用に資するコンサルティング事業
- (3) 情報セキュリティ・個人情報保護に係る研修・監査・審査事業
- (4) ICT利活用に資する業務支援事業
- (5) 企業内教育・社会教育に資する教材開発事業

を粛々と進めて参ります。

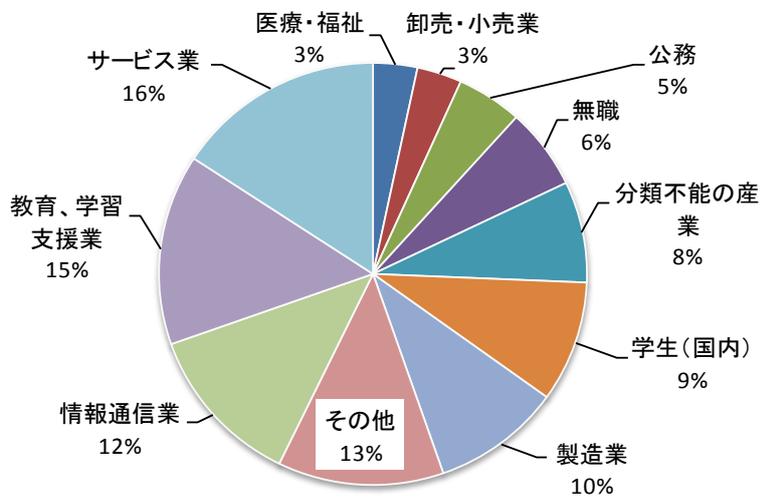
皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

Ⅱ 霞が関ナレッジスクエア (KK²) 事業

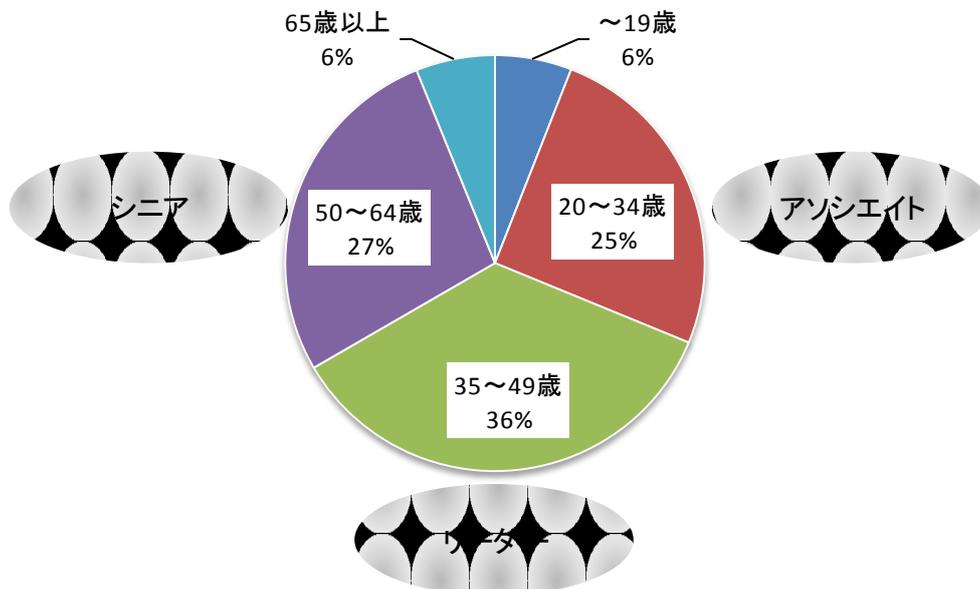
KK²は、学校教育でも企業内教育でもない、開かれた新しいスタイルの社会教育システム＝「デジタル公民館」です。映像、インターネット、通信衛星を活かし、いつでもどこでも誰でも学べるライブ学習、オンデマンド学習、コミュニティ活動を提供し、「人と人の絆と地域の再生」に貢献します。

KK²サイトにWEB会員(2013年3月4日現在7,308人)として登録されている方々の職業別年齢別構成は以下の通りです。

[業種別]



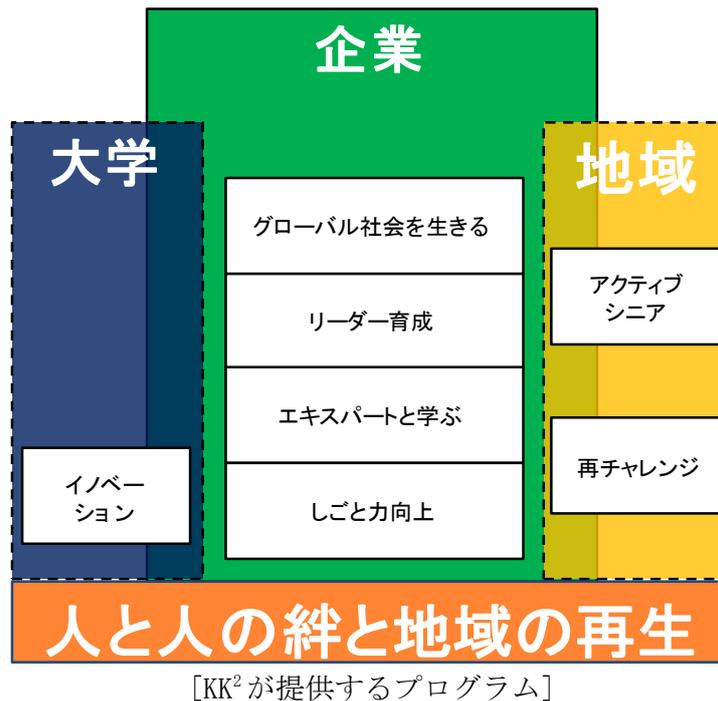
[年齢別]



様々な業種でキャリアを積み上げておられる方が多く、

- ・「アソシエイト」：新社会人から30歳代半ばの「筏下りステージ」
- ・「リーダー」：頂を目指し険しい道に挑戦する「山登りステージ」
- ・「シニア」：長い下り坂をアクティブに生きる「キャリア活用ステージ」

といった3世代の方がほぼ1/3ずつの構成となっています。



「アソシエイト」には、目の前の課題に全力で取り組み、仕事や人との出会いをアクティブに受け止める姿勢が求められます。「[コンピテンシー・チェック](#)」「[しごと力向上ライブラリー](#)」で学び、「[エキスパート・スタジオ](#)」でロールモデルを見つけて下さい。KK²は社会で活躍したい！そんな方々を応援します。

「リーダー」には、専門力を高め計画的戦略的にプロジェクトを遂行することが求められます。「[しごと力道場](#)」でリーダーシップを掴み、アイデアあふれるチャレンジで成功するまで歩みを止めない[エキスパート](#)に学びましょう。KK²はグローバル社会を生きるリーダーを応援します。

「シニア」には、培った経験を活かし、地域の人々と共に新たな活動に挑戦することが期待されます。人生二周目は社会に恩返し、KK²は「人と人の絆の再生」そして「地域の再生」にがんばる[アクティブシニア](#)を応援します。

KK²では、社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人を「エキスパート」と呼び、エキスパート達が備える能力を、学校が教える「学力」に対して自ら学ぶ「しごと力」と命名し、Feel（人間力）、Think（知・考力）、Act（行動力）、Skill（技能）、Knowledge（知識・理解）の5項目と以下の17カテゴリーに整理分類しています。

I-1 Feel : 人間力	I-1-(1) 自己認識力
	I-1-(2) 感情マネジメント力
	I-1-(3) 共感力
	I-1-(4) コミュニケーション力
I-2 Think : 知・考力	I-2-(5) 状況把握力
	I-2-(6) 原因究明力
	I-2-(7) 選択決定力
	I-2-(8) リスク分析力
I-3 Act : 行動力	I-3-(9) 実行力
II Knowledge : 知識・理解	II-(10) ビジネス
	II-(11) 法律
	II-(12) 健康
	II-(13) 生活・文化
III Skill : 技能	III-(14) ビジネスマナー
	III-(15) ビジネススキル
	III-(16) IT スキル
	III-(17) マネジメントスキル

(1) 人と人の絆と地域の再生

KK²では月一回、中央省庁の若手官僚、NPO リーダー、企業の CSR 関係者、KK²スタッフによるランチミーティングを行ってきました。3.11 以降復興支援に向けた情報交換の場となり、各メンバーの立場でできることの情報共有と連携協働も実現しましたが、発災から満二年が経ち被災地の再生への道のりは遠く険しいものがあります。KK²は身の丈に合った持続可能な活動を継続します。”思い”ある方のご支援ご協力を心よりお待ちしております。

ー 1 大船渡市「デジタル公民館まっさき」-H24 年度より継続-

ネットによる遠隔からのコミュニケーションと、リアルなボランティアサポートを連動し、「情報発信・交流」を目的とした ICT 活用を進め、大船渡市末崎(地元の方は”まっさき”と呼ぶ)町及び陸前高田市長洞元気村仮設住宅にお住まいの方々の「情報発信能力の向上」と「コミュニティづくり」を応援します。



- ・ 末崎地区公民館及び陸前高田市長洞元気村仮設住宅集会所の NICE-NET 受信環境継続
- ・ 末崎地区公民館に無線 LAN 環境維持管理と常設 PC 貸与の継続
- ・ KK²「人と人の絆と地域の再生」関連プログラム、しごと力向上プログラム、文化プログラム等の NICE-NET ライブ配信の継続
- ・ 仮設住宅集会所等へのホットスポット環境維持管理
- ・ ICT ボランティアによるパソコン・ネットの講習会開催(年数回現地開催)
- ・ 「デジタル公民館まっさき」

WEB サイト構築と facebook との連携

- ・ 参考：デジタル公民館まっさき

URL <http://www.massaki.jp/>



ー 2 人と人の絆と地域の再生に資するプログラムの開催

以下のようなテーマで活躍しているエキスパートや地域をプログラムで取り上げます。

- ・アイデアあふれるチャレンジで限界集落から脱却を図る
- ・企業人時代の経験を活かし、地域の人々と共に新たな活動に挑戦する
- ・介護・福祉、地域包括ケアなどの切り口での地域の課題解決に挑戦する
- ・地域の生産者と共に地域の魅力を発信し事業化を推進する

※ 次項で紹介する「エキスパート・スタジオ」として取上げる場合もあります。

(2) しごと力向上・エキスパートと学ぶ

ー1 キャリア教育番組「エキスパート・スタジオ」

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え学ぶインタビュー形式のキャリア教育番組です。ゲストは、さまざまな職業で活躍する若い世代から、人生二周目で社会の課題解決に挑戦するアクティブシニアまで、日夜目の前の課題に全力で挑戦するエキスパートです。

「アソシエイト」「リーダー」「シニア」各層の参加者が、エキスパート達の考え方、行動、しごと力、コンピテンシーを紐解き、ご自身の目標となる「ロール・モデル」を見出すことが狙いです。

昨年度までに24人のエキスパートをご紹介してまいりました。今年度も6名のエキスパートをご紹介する予定です。



[コンテンツ画面] 2012年09月11日 収録
第20回 航空業界総合職技術職
日比啓太郎さん(全日本空輸株式会社)

ー2 コンピテンシー・チェック

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel (人間力)、Think (知・考力)、Act (行動力)」について理解し、自分自身を客観的に診るプログラムです。開発された課題映像(ドラマ)を視聴し、自分ならどう考え行動するのかをweb上のシートに入力後、セルフチェックを行います。自分自身を理解し、よりよい行動特性に気付くチェックシステムです。既に早稲田大学人間科学部の講座で活用されていますが、さらにメンバー大学等での活用促進を行います。



[コンピテンシー・チェック後、表示されるレーダーチャート画面]

ー 2 KK²しごとと力道場

「リーダー」層を対象に普遍的なテーマについてディスカッション、ディベートを行い、「自分で考える力」「自分を客観的に評価する力」を養う、リーダー育成を目的とした「KK²しごとと力道場」を開催します。参加者は8名～12名の少数とし、年2回開催の予定です。



[平成 25 年 2 月 9 日開催 しごとと力道場 風景]

ー 3 KK²しごとと力向上ライブラリー

学校での知識偏重教育、企業での業務遂行やコンプライアンスを目的とする教育に対して、「しごと力」の学習は自己責任に帰す傾向が強くなり、むしろ後退しています。

いつでもどこでも誰でも学べる「KK²しごとと力向上ライブラリー」は 61 講座 180 単元(2013年3月現在)を既に開発し、今後も毎月 1 単元新プログラムを開発してまいります。メンバーの組織的なご利用や、教育研修体制の弱い中小企業等でのご利用をいただくために、さらなる周知活動を行います。

開発するプログラムのテーマは、メンバーからのニーズ把握により進めてまいります。今年度は、CS（顧客満足度）向上や、クレーム対応の基本、3.11 の体験を通じて脆さが露呈したリスクマネジメントと危機管理などが取上げる候補です。



[平成 24 年 10 月公開「しごとのできる人の行動特性」
～コンピテンシーを学ぶ～]

ー 4 KK²カウンセリングプログラム

主に「アソシエイト」層を対象に、「自分にはどんな仕事に向いているか」、「どんな仕事をするべきか」、そして「どんな仕事ができるのか」・・・このような問いについて、長年、国内外で多くのキャリア相談を手がけてきたスペシャリストが面談を行います。

もちろん明確な答えが出るというものではありませんが、自分の悩みや課題を整理して第三者に聞いてもらうよい機会になります。

実施にあたってはNPO法人日本キャリア開発協会（JCDA）の協力を得て、月曜日から金曜日の週5日、16:00/17:00/18:00/19:00の4枠で、ネットによる事前予約を受けて無料で実施しています。カウンセリング時間は1人1回45分程度となっています。

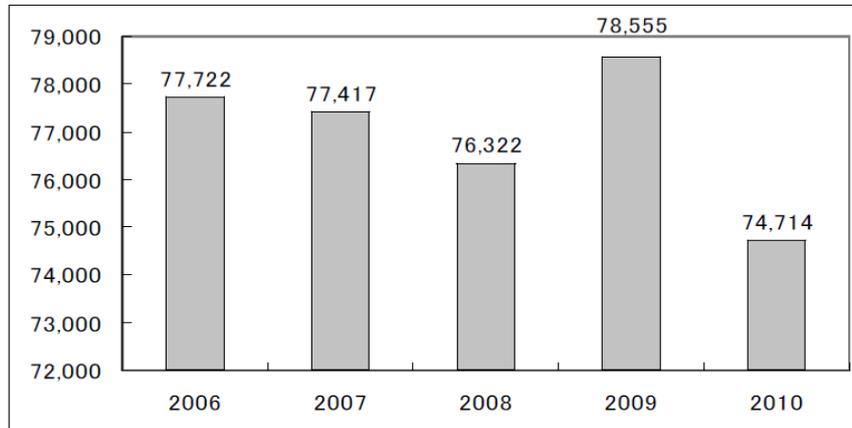
ー 5 KK²キャリアカフェ

カウンセリングプログラムと連携し、様々な分野で活躍している方を「キャリアメンター」としてお招きし、自分の「しごと」や「キャリア」について語っていただくプログラムです。司会者と、10人程度の参加者という小規模なスタイルで、お茶を飲みながら率直な質疑と交流を行います。年数回程度開催します。

－ 6 KK²good books

多少減少傾向にあるとは言え、我が国の書籍新刊点数は年間7万点を超えています。ネット社会が進展し情報量が飛躍的に伸びている現在、読みたい本と読むべき本をどう見つけるのが課題です。

○書籍新刊点数（単位：点）



2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
77,722	77,417	76,322	78,555	74,714

出典：2011年版出版指数年報（社団法人 全国出版協会・出版科学研究所）

○1ヶ月に読む（見る）書籍・DVD等の平均冊・本数

		全体の平均						
		合計	単行本	文庫・新書	週刊誌	月刊誌	マンガ・本	ビデオ・DVD
全体		5.5	0.8	0.6	1.0	0.7	0.9	1.5
年代	10代後半	11.0	1.3	0.9	1.6	1.1	4.2	1.9
	20代	10.1	1.5	0.8	1.1	0.9	3.1	2.6
	30代	7.0	0.9	0.7	1.3	0.9	1.1	2.1
	40代	5.4	0.7	0.7	1.0	0.8	0.6	1.6
	50代	5.3	0.7	0.6	1.1	0.6	0.4	1.8
	60代	3.9	0.7	0.6	1.0	0.5	0.2	1.0
	70代	2.6	0.6	0.4	0.7	0.4	0.1	0.5

※四捨五入の関係により、単行本と文庫・新書の合計は報告書本文と一致しない場合がある。

出典：2011年版読書世論調査（毎日新聞社）

一方国民一人当たりの平均読書冊数は、10代20代に比べて30代からがぐんと減り、年と共に減り続けることが示されています。「忙しくて本も読めない」のかも知れませんが、せめて「本を読みたい」と思う気持ちを後押ししたいものです。

KK²では、(1)人と人の絆、地域の再生、(2)しごと力向上・エキスパートと学ぶ、(3)社会の課題を担うアクティブシニアを応援、という三つの視点で推薦書籍を厳選し、毎週2～3冊、年間120冊程度、約500文字程度の紹介文としごと力カテゴリー分類とともに、書籍情報として提供しています。書店に足を運ぶ、インターネットで書籍を検索する時間の無い方に、本を読むきっかけを提供していきます。

ー 2 霞が関ミュージックサロン

一流の演奏家による音楽やカルチャー、伝統芸能に親しんでいただけるプログラムを(株)ミュウカルと共同開催しています。海外在住日本人演奏家の一時帰国にあわせたミニコンサート、また触れる機会が少なくなっている日本の伝統芸能古典芸能に親しむミニコンサートです。また、演奏後、演奏家と参加者との交流会も実施しています。年数回開催予定。

ー 3 KK²ワインセミナー

「食と文化」をテーマにしたプログラム。ヨーロッパをはじめ、日本を含む世界各地のワインを取り上げ、試飲していただきながらぶどうや生産地、製造法など初心者向けにわかりやすく解説します。今年度は、昨年度大好評だったチーズとの組み合わせを中心に、あらためてイタリア、フランスのワインを掘り下げてご紹介する予定です。年4回開催予定。

ー 4 霞が関シアター

自主上映会での公開を目指し製作されているドキュメンタリー映画、教育・文化映画に上映の機会を提供、自主上映会や製作団体等との共催プログラムとして開催します。上映後は制作者や有識者を招きトークイベントを行います。年数回開催予定。

ー 5 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～

KK²開設記念に制作したオリジナル作品「江戸TOKYO散歩」を多言語化(英語/韓国語/繁体字/簡体字)し、全編を独立したwebサイトで公開します。これまでweb会員のみ公開をしていましたが、2020年東京五輪招致を応援という意図も含め誰でも見ることができるwebサイトに変更します。歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の12景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街なみ、人々の営みを映像に収めています。

(5) KK²事業運営

KK²事業は、組織個人等メンバーよりの協賛会費収入と、レンタルスペース貸出し収入で賄い、イベント・セミナー参加者にも実費をご負担いただき、一切行政に頼らない運営を行っています。運営は、財団法人 高度映像情報センター(AVCC)が主体となり 株式会社メディアリンクがネットワーク&技術提供を行い、協賛メンバーに支えられ活動しています。協賛メンバー拡大とレンタルスペースの稼働率向上を推進します。

ー 1 スタジオ貸出

メンバー及び一般に対して、セミナー、会議、交流会(パーティ)等のスペース貸出し及びライブ配信・収録・同時通訳・TV会議等の技術サービスを行います。

昨年度の貸出し実績が低迷している現状を踏まえて、PR活動の強化と料金体系等を見直し、稼働率の向上をめざします。

- ・開館日：月曜日から土曜日(祝日/年末年始を除く)
- ・開館時間：07:30～23:00

ー 2 ラウンジ利用

ラウンジは、メンバー限定の利用となっています。サテライト・オフィス、PC/ネット環境の貸出し、TV会議の貸出し、メンバー定期刊行物/雑誌/新聞/ KK²事業の収録録

像等の閲覧サービスを行います。協賛メンバーはもちろん、月1,000円(税別)で利用できる個人メンバーの拡大をはかります。

- ・開館時間：平日 09:00～18:00

－ 3 交流カフェ「エキスパート倶楽部」貸出

一般向けの、ランチ・カフェサービスは、平日 11:00～15:00 に行い、それ以外の時間帯はレンタルスペースとしてご提供(貸切、予約制)します。早朝及びランチ・カフェサービス後(15:00以降)の講習会/会議、夕刻や土日の交流会・パーティ利用について、稼働率の向上をめざします。料飲サービスは株式会社メディアリンクに委託します。

(6) KK²からの情報発信、その他

－ 1 WEBサイトのリニューアル

いつでもどこでも誰でも学べるKK² WEBサイトの学習サイト化を目標に、リニューアルを行います。主なポイントは以下の通りです。

- ・学習記録を蓄積する(eポートフォリオ)LMS機能を持つ
- ・プログラムに対する学習者の評価を得られるようにする
- ・プログラムを核にする学習者のコミュニティ機能を持つ
- ・学習者の学習ニーズを把握できるようにする
- ・レンタルスペース予約状況確認と利用申し込み機能を持つ

－ 2 メルマガ「メッセージ from KK²」

毎週金曜日にメールマガジン「メッセージfrom KK²」を発信します。構成は巻頭言「メッセージfrom KK²」「キャリア応援プログラム」「文化プログラム」「ライブセミナー ライブラリ」「文化プログラム ライブラリ」「good books」「交流カフェエキスパート倶楽部」「事務局からのお知らせ」で構成しています。年間発行予定数：約50回。

－ 3 AIDステーション活動

3.11東日本大震災発災時に、スタジオ・ラウンジ・エキスパート倶楽部のすべてのスペース・設備・PC/ネット環境・保有する水食料を提供し、帰宅困難者に対するAIDステーション活動を実施しました。この経験を踏まえ、引き続き大規模災害時にAIDステーションとして活動できるよう体制を整えます。



Ⅲ コンサルティング事業

3.11 東日本大震災発災から数ヶ月後、人口約 4,500 人、1,600 世帯中 650 世帯が津波で流失した大船渡市末崎地区の避難所だった古い公民館を訪ね驚きました。情報インフラは電話線 1 本でネット環境無し、地域の名譽職的な囑託の館長と傘下の集落公民館長で館長不在時をカバーする主事、朝晩の鍵開閉とお掃除担当の女性、常勤が居ないスタッフ体制でした。

AVCC で直に出来ることとして、ADSL 回線を引きネット環境整備、住民が自由に使えるパソコンを設置、CS アンテナを設置して KK² プログラムを受信、月一回ボランティア訪問しネット利用講習等をスタートしました。

今年 2 月公民館事務室の光景に驚きました、防災行政無線の巨大サーバ装置と衛星電話が置かれ、光回線が敷設されていました。お聞きすると、何の為に付けたのか？誰が操作するのか？どう使うのか？何の説明も無く、サーバと運営スタッフはこれから狭いスペースで同居するのでしょうか。

復興に向けた公助は大切ですが、運営体制が弱い老朽化した施設に、縦割り組織が調達したシステムインフラが無作為に導入されました。公助によるシステムインフラ、自助共助の上に立つ運営体制、自治体職員・住民の危機管理教育が地域毎にマネジメントされ三位一体で推進されることが重要です。

AVCC の高度映像情報メディアの利活用に資するコンサルティング事業は、この考えを基本とし、地域社会に貢献するべく、今年度も以下の内容を推進してまいります。

(1) 防災・消防関連コンサルティング業務

官公庁の防災通信システムならびに消防機関の有線及び無線通信に関する計画策定・設計から監理業務までのコンサルティングならびに地域社会に貢献できる防災関連コンサルティングを実施します。

(2) 官公庁情報化推進支援事業

官公庁の情報化推進にあたり、情報化計画策定、業務システム効率化、システム構築、ネットワーク構築等に関する企画・設計から監理業務までをトータルのコンサルティングを行います。

(3) 教育・文化施設や企業等の施設におけるコンサルティング業務

公民館、公共図書館、生涯学習センター、教育センター、学校ならびに企業内教育施設等での情報システム・教育システム導入計画、リニューアル計画等に関連した基本計画、設計、運用計画、維持管理計画の策定業務を行ないます。

(4) 情報セキュリティ/プライバシーマーク取得コンサルティング

情報セキュリティを含む内部監査支援及び外部監査を行ない、外部からの脅威、内部の脆弱性などのリスクの分析により、不適合事項の改善提案や規程類の見直しを含めたコンサルティングを行ないます。また、プライバシーマーク取得支援及び個人情報保護法対応に関するコンサルティングも行ないます

IV 運用保守構築等業務支援事業

システムを有効に活用するためには、運用業務はとて重要です。AVCCでは、日々の運用からメンテナンス、支援業務を含めてトータルにサービスを提供してまいります。

(1) TV会議システム運用業務

独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託を受けて、JICAが運用するTV会議システムの機能を最大限に活用し、より効果的かつ効率的な技術協力、有償資金協力、無償資金協力等のJICA事業を実現すること、及び事業の機会拡大に資することを目的として、TV会議システムの運用業務を実施します。

具体的には、本運用業務に必要な業務従事者をJICA内に配置し、JICA本部TV会議室、国内拠点、在外拠点等を結んでのTV会議実施業務やそれに付随する共通業務を行います。

(2) 情報システム運用保守業務

公共施設、各種団体・企業に設置されているコンピュータネットワークシステムや各種AVシステムを対象に、オペレーションから機器の管理・日常点検業務及び運用業務の支援を行ないます。また、被災地の公民館等においても、同様の活動を行い、自立できる仕組みを検討してまいります。

(3) 遠隔教育・eラーニングシステムの運用業務

遠隔教育・eラーニングシステムの運用及び関連コンテンツ開発の支援業務も行ないます。

(4) 情報セキュリティ/個人情報保護等研修支援業務

行政機関や民間企業の情報セキュリティ/個人情報保護に関する研修を行ないます。意識づけ研修から顧客の環境に合わせたケーススタディ演習まで、さまざまな状況に応じた研修を実施します。

(5) プライバシーマーク認定審査支援業務

(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)及び(財)放送セキュリティセンターが行なっている、個人情報適切に取り扱っている組織を一定の基準で認定し、プライバシーマークの使用を許諾する制度に係る審査業務を支援します。

V 教材企画制作事業

教育目的にふさわしい、映像を使った効果的な研修教材の企画・制作事業を推進してまいります。

(1) 映像教材の企画制作普及

企業や各種団体、機関等の教育・技能訓練・広報といった分野での、映像を活用した教材の企画制作を行います。特に、昨年度実績のある各種資格取得者向けスキル向上のための教育、産業保健分野に関わる人材向けスキル向上教育といった分野を中心に事業を進めてまいります。DVDなどの各種メディアだけでなく、Webコンテンツやインターネットで配信できるデジタルコンテンツの制作も行います。

(2) 生涯学習情報提供システムの企画・教材開発

インターネットを活用した生涯学習情報提供システム等の企画・教材開発を行います。教育委員会の職員をはじめ、関係団体や個人（ボランティア等）など外部関係者との連携を可能とし、自主運用に重点を置いたランニングコストが軽減されるシステムを目指します。

以上